

話題(そのⅢ)

10年後に日本を追い越す？(韓国訪問記)

原研伊勢武治

この度のアジア大会では日本は韓国に大差を付けられましたが、韓国人の生活ぶりを見ていると当然のような気がしてきます。昨年の秋に2週間程韓国を訪れる機会を得ました。珍しくはないかも知れませんが、その時の私のカルチャーショックをしたためることとします。

ユースンオンチョン
儒城温泉に10日程滞在してきました。勿論、原子力研究交流制度に基づくお仕事によりKAERI(韓国エネルギー研究所)に通うためで、今流行の温泉旅行ではありません。儒城温泉は、図1に示す如く大田の北西11kmに位置し、温泉の少ない韓国では有数の温泉町です。しかし日本の熱海や伊香保に比べますとずっと小じんまりしています。

イーパルソ
明日からのご出勤に備え、ホテルに到着後早速理髪店に参りました。終えるまで3時間余かかりましたが、これは整髪後若い女性による全身マッサージのサービスが付くからです。馬乗りになつてやってくれ、男冥利につくる大変気分の良いものです(¥2,000; 換算は¥=₩ × 1/5です)。サッパリとしたところで遅い夕食をとりに街に出かけましたが、アチラは英語がわからず、コチラはハングルがわからずで、止むなく日式食堂へ入りました。メニューが読めないので、他人の食べている料理とピールを頼みました。お通しは山盛の枝豆。料理はタイの刺身、馬鹿貝のスープ、野菜スープ、生ニンニク1袋、うづらの卵10ヶ等で、ボリュームは日本での2倍はあるでしょう(¥1,500)。9時頃でしたので手空きのウェイトレスが皆で枝豆、卵、えび等の皮剥きをし口元まで持ってきて食べさせてくれました。刺身は辛味噌、ツマと一緒に菜で巻いて食べます。男が威張っている国の女性はサービスがいいのかな。韓国人は生ニンニク1袋をペロリと食べてしまいますが胃腸への影響はないのでしょうか。韓国人に消化器系統の癌が多いのは、辛さ等これらが原因していると云う医者も居るそうです。

こゝ儒城に10日以上も滞在し、毎夕6時半前(9月ですので未だ明るい)には宿へ戻ってくるのですから、できるだけ有料コートでテニスをしました(¥1,000/時)。ラケット(¥6,000), シューズ(¥1,500), トレパン上下(¥1,200)は現地で買い整えました。皮靴は¥1,400でした。ヨンファ映画(全てハングル)は¥300。

夕食後ビールを飲みに行ったときですが、ツマミにチキンの足1本を頼んだところ、出てきたチキンは1羽分(ビール2本、キュウリのキムチ、ピーナッツ2皿、チキン1羽:¥1,600)。半分食べるのがやっとでした。韓国ではチキンは最も安価な肉類で、1羽分が最少注文単位だそうです。

教訓：食べるときだけだけは大勢で行け。喫茶店では日本と同じようにウェイトレスの案内はないのですが、たいていは「いらっしゃいませ」の声とともに現われて同席し話し相手になってくれます。手空きのときは何人ものアガッジが同席するので当然飲物を振る舞うのですが、店に置いてあるものはコーヒーとか人参茶とかのソフトドリンクの類（高くて￥200）ですから、振る舞っても懐は痛みません。人参は勿論高麗人参のことと韓国政府の専売品ですが、高価なもの程薬効があるとされ、疲労回復、強精（good especially for men）等の薬効で有名で、私もその信奉者のひとりです。

韓国の酒では薬酒（清酒）の代表である法酒、濁酒の代表であるマッコリ、焼酒の代表である真露が有名ですが私は水原の民族対で飲んだ米100%のマッコリが一番旨く感じました。これらの酒とともに有名なのが焼肉料理ですが、骨付きのアバラ肉を金網で焼くのがカルビ。焼けるとウェイトレスが持参の裁ちバサミでチョキッと食べやすく切分ってくれます。キムチやニンニクと一緒にチシャの葉に包んで食べます。タレが付きスキ焼き風に食べるのがブルコギで、タレは甘過ぎる気がしますがキムチ等の辛さとバランスさせるため（？）。刺身は釜山で食べましたが大変新鮮で旨かった。アワビ、タイ、エビ、ホヤ等日本では仲々手が出ないものを腹いっぱい食べました。欲を云えばワサビ・ショウガ・醤油だけは持参したかった。餅菓子は程良い甘さが日本人向き。韓国では祝い事の際に食べるそうな。どの料理でも必ずキムチが出ますが、金正道夫人御製のものが私の口に良く合います。他の有名な料理として蔴鶏湯（鶏の水炊き）、強精料理の代表格である補身湯（犬肉の煮込み）とかは未だ見てもいません。オリンピックを控えて、犬猫を食べる習慣は禁止になったそうです。

日本に比べ激安なのが交通機関でしょう。経済活性化のため政府がコントロールしているそうです。ソウル市内バス（写真1）。運賃は何処でも￥26。少し値が張りますが、座席バス（￥70）はお年寄りとか小さい子供は大変助かるでしょう。地下鉄は日本のより静かで、初めての私でさえ間違えずに帰れたように、乗り換え案内が大変良くできています（東京の地下鉄乗り換えでは今だに間違えますし、ニューヨークではウォールストリートへ行くつもりがブロンクスへ行ってしまった私でさえ）。運賃は￥34。ソウル市内のタクシは全くの神風運転。料金は日本の5分の1程度です。慶州観光で半日借り切って￥7,000（エアコン車）。韓国ではついぞ日本車にはお目にかかりませんでした。

全国に網の目のように発達している高速バスは速くて安く便数が多いので国民が一番利用します。私も大田からソウルまで利用しましたが快適でした（150km、￥500）。高速道路で中央分離帯が無い処は、いざ鎌倉のときには戦闘機が利用できるようにとのことでした。私は鉄道の方が気に入りました。釜山→慶州では優等列車、慶州→大田では超特急セマウル号（￥1,500：2時

間)を利用しました。広軌で4人座席なので大変ゆったりできます。「家路」、「白鳥」、「フニクリ・フニクラ」、「アリラン」等のメロディが静かに車内を流れ旅情をかき立ててくれます。また車内の女性アナウンスは誠に美声で思わずウットリしますし、その英語はどこかの国の機内アナウンスよりも遙かに流暢です。グランドホステスも回ってきます。

そろそろ出張目的のことを書きましょう。KAER Iは日本の原研と動然と放医研とと一緒にした
デュシヨンクタンチ
ような原子力研究所で実質的には国立です。職員は約2,000名。国中の主要な研究機関を集めた大
テー
徳研究団地の最も奥に位置しています。現在多目的研究炉KMRR(30MW_t, 1990年完成予定)
を設計中です。一方、日本原研では新研究炉(JRR-3改造炉: 20MW_t, 1989年完成予定)を
建設中です。そこで研究炉の設計についての討論が今回の訪韓の目的であります。

核データに関連して、KAER Iにおけるソフトウェアの現状について以下に述べましょう。核データ処理ではETOX, ETOT, ETOG, NJOY及びAMPX-IIのコードを、群定数作成では、LEOPARD, LASER, HAMMER, THERMOS, GGC-4, WIMS及びKARATE(≈EPRI-CPM)のコードを、拡散計算ではCITATION, VENTURE及びKIDD(≈PDQシリーズ)のコードを、S_N輸送計算ではANISN及びDOT 4.2のコードを、モンテカルロ計算ではKENO-N及びMORSE-CGのコードを、その他としてQAD-CG, ORIGEN-79及びORIGEN 2のコードを用いています。

核データライブラリーとしては、ENDF/B-N, ENDL-84/V, JENDL-2等を用い、前述の処理コードで各コード用のライブラリーを作成しています。またKENO-N計算ではDLC-43B/CSRLを、遮蔽計算ではDLC-23/CASK, DLC-31/FEWG1, DLC-75/BUGLE-80及びDLC-41C/VITAMIN-Cのライブラリーを用いています。

発電炉関係の計算では特にKARATE・KIDDの組合せとLEOPARD・CITATION(WH社PWR)の組合せを、KMRR関係の計算ではWIMS(ENDF/B-NとNJOYからライブラリー作成)・VENTUREの組合せを用いています。

これらのコードを使うのは、軽水炉核燃料事業部炉心核設計室、発電炉系統事業部発電炉核設計室、原子力安全研究部原子炉安全研究室及び原子炉研究部原子炉設計室のメンバーです。原子炉研究部は目下KMRRを設計中ですが、そのキイメンバーバーを写真2で紹介します。

韓国は石油資源ゼロですので、原子力エネルギーには大変関心が高く、既に6基の発電炉が稼動中です。そのうち1基がCANDU炉で、他は全てWH社PWRです。今後1996年までの建設予定としては6基で、その内訳は、WH社PWR 1基、フライマトム社PWR 2基、CE社PWR 2基です。現在の原子力発電は全発電量の約37%で、1990年度には54%に高めることを目標としてます。課題は国産化率を現在の40%を95%以上(2001年度には)に高めることだそうです。

さて、原子力を含め広範囲に亘る産業育成は国家主導型で行われております。例をあげますと発電炉建設では韓国重工業1社、乗用車生産では現代と大宇の2社であり、資本の分散を防いでいます。彼らは、あのスタミナ食を沢山食べ朝から夜遅くまでよく働き、ちょうど一昔前の日本のようでもあります。その上賃金は安いのですから。これらのベクトルが合成されれば当然生産性も向上しますし、既に造船では日本のシェアを食い、エレクトロニクス、自動車等でも日本を急追しているのは、ご存知の通りです。教育も国家主導で行われており、受験戦争が過熱になったので塾と家庭教師を政府が禁止しました。一方では最新の設備と最高の教授スタッフを擁する国立工業大学をこゝ研究団地内に建てております（写真3）。10年後に日本を追い越す人材養成を進めているとのことです。スポーツについてはその成果はアジア大会で実証済です。

やっと筆が滑らかに動き出したところで予定の頁数がきてしましました。訪韓中におきましては、K A E R I の金東勲副所長を始め写真2で紹介しましたメンバー、特に金正道氏には御多忙中の処、私の語学力不足も加担して大変お世話になりました。こゝでの記事も氏に負うこと大です。この欄をお借りして皆様に厚くお礼申し上げます。

P.S. これから訪韓される方に一言。研究所のような処では英語がよく通じますが、街では意外と英語も日本語も通じません。漢字も殆んど見当りません。年輩の方を除いては漢字を知らない人が多いようです。最小限度のハングルを勉強していくことをお奨めします。

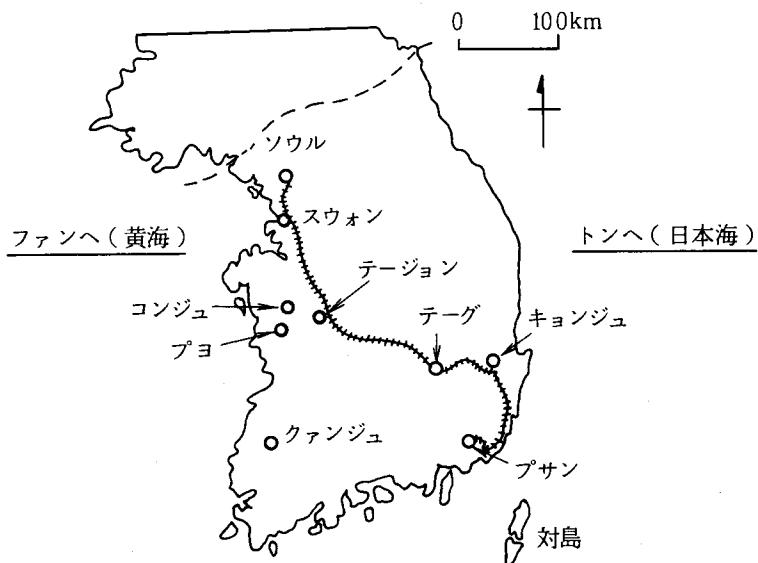


図1 韓国の概略地図：儒城温泉はテジョンの北西11km,
KAERIは、北北西20kmに位置する。



写真1 ソウル市内のバス(江南区)：交通機関は何れも激安,
バスは市内¥26。地下鉄は¥34。経済的な乗物程
ハングル無知のハンディが大きい。

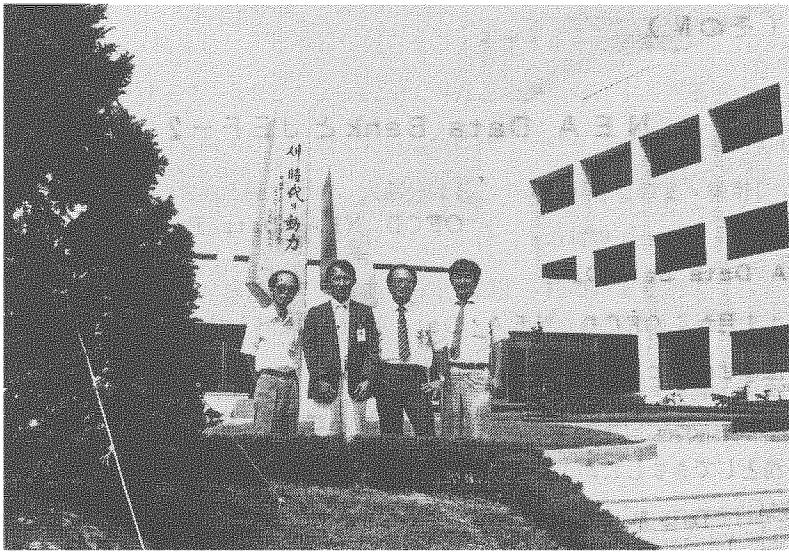


写真2 KMRR設計のキメンバーと一緒に：左から金正道
任研究員，筆者，^{キンソンユン} ^{リージーポク} 李智馥原
子炉設計室々長。

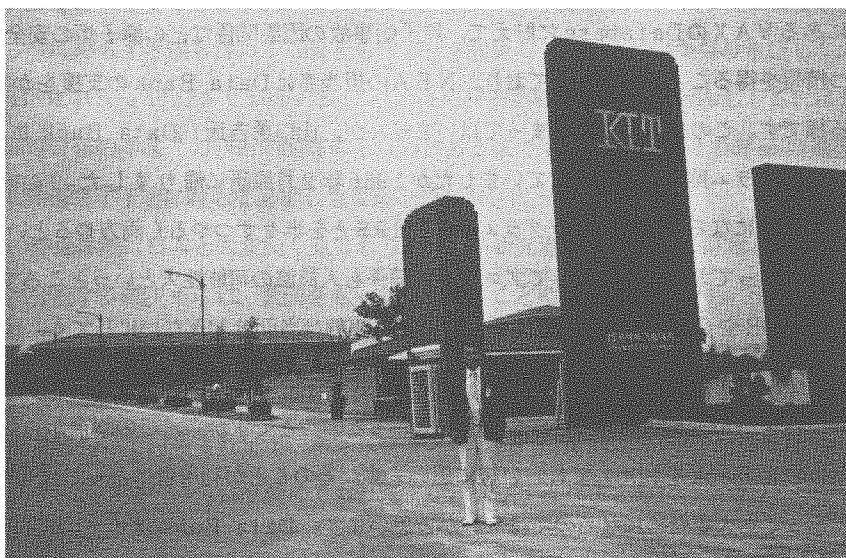


写真3 最新の設備を誇る韓国工業大学：10年後に日本を追
越すために？建てられた（KAERIと同じ研究団地内
にある）。